

質問しつもん

市の事業などについて、議員が主張・提言・指摘を行います。市の大事な施策をこの本会議で決めています。

3月定例会のみ代表質問を行い、時間は答弁とあわせて90分です。(その他の定例会は個人質問で40分)

草莽の会

前中 敏弘 議員



まちづくり 三田の未来に何が残す？

議員 市長の功績は、三田の未来に何を残したかである。まちの将来像と都市基盤整備、それに伴う都市計画マスタープランの見直しなど進捗を伺う。

市 「守り」から「攻め」へ

まちづくり基本条例の制定により、協働のまちづくりを確立できたと考える。来年度予算は従来の課題解決型の「守り」から未来志向型の「攻め」に転換する。

三田駅前Bブロック地区の再開発は今年秋に工事着手予定、新三田は平成27年度に市街化区域編入を受けて事業化する。広野は事業手法を含め地域の意向確認中、相野は圃場整備工事に着手した。今後は都市計画マスタープランの見直しに基づき市街化調整区域の土地利用が図れる仕組みを考えていく。(市長)

エネルギー 再生可能エネルギーの進んだエコなまちに！

議員 三田は環境への取り組みが乏しい。地球温暖化や地の利の良さなどからも環境施策の充実が必須である。そこで、国が認定する環境モデル都市



を取得し、太陽光だけでなく、水力、バイオマスにも目を向けた新エネルギー戦略に転換すべきである。

市 まずは太陽光を

環境モデル都市取得には、地域住民やNPO、地元企業、大学など地域ぐるみの取り組みと、市役所にあっては部署間を横断する全庁的な体制の構築など総合的なアプローチが必要だ。他市の動向を見ながら情報収集に努め、まずは太陽光発電の普及促進と街路灯のLED化を進めていく。(菟原経済環境部長)

会計 市の指定金融機関を複数行に！

議員 三田市の一般・特別会計の出納事務を取り扱う指定金融機関は長らく1行が担って来たが、他市のように複数行が交代で担当することで、競争原理が働き、資金調達等のコストが下がることに加え、市民の利便性も向上するので、輪番制を導入されたい。

市 指定金融機関に理解を求めていく

一般・特別会計の指定金融機関は三井住友銀行、水道事業会計は池田泉州銀行、病院事業会計は中兵庫信用金庫と分散化しており、リスク回避の体制と各々の金融機関の緊張関係を確保している。特に三井住友銀行には、制度当初より本市の出納業務に協力いただいているので理解を求めていく。(勢田会計管理者)

他の質問 中央教育審議会の教育委員会改革答申及び市教委の現状と課題

説明 *都市計画マスタープラン：都市計画法第18条の2に基づき、市の都市計画に関する基本的な方針として、市が定めたもの
*バイオマス：再生可能エネルギーの一つで、生物由来の有機性資源を指す。生ごみや間伐材など多くの種類がある。
*指定金融機関：市が議会の議決を経て、公金の収納、支払の事務を取り扱いのために指定する金融機関

市民の会第一

家代岡 桂子 議員



まちづくり 市の最大課題にどう取り組むのか

議員 「守りから攻めへ」の市政転換を打ち出し、「魅力創造型予算」を編成した竹内市長が考える市政の最大課題は何か、それとどう取り組むのか。

市 3大課題の財源確保に努める

市民の命、人権が大切に守られ、ともに生きる人間中心のまちづくりが基本であり、子育て支援と教育の充実、安心・安全な市民生活の確保、活力ある都市基盤整備の3点を最優先課題として関連する諸施策、諸事業を積極的に展開してまいりたい。

市の自主財源と国、県からの依存財源をどのように確保していくかが大きな課題でもあり、適切な準備をしておくことが責務であると考えている。(市長)

広報 シティセールス「攻め」の戦略とは

議員 「攻めの市政」を市外に展開するのが、新規施策の「シティセールス」だと思うが、その戦略と態勢は。

市 一丸となってPR活動を

従来の広報課にシティセールスの企画や調整する事務を加えた企画広報課で、積極的に取り組んでいく。単なる市の魅力を発信するだけではなく、

歴史文化はもとより、観光、農業など、三田市全体の魅力を発掘し、高めていくことが何よりも大切であると考え、全庁的なプロジェクトとしての三田市シティセールス戦略会議も立ち上げなければならないと考えている。全ての市民の皆さんにも、市のPRを積極的に行っていただきたいと考えている。(市長)

Bブロック 駅前再開発進捗と高齢者支援施策

議員 「三世代が同じ街に住み、生き生きと一緒に暮らせる街」をコンセプトにする三田駅前Bブロック地区市街地再開発事業の進捗状況と、ここに設けられる注目の高齢者支援施策とはどのようなものか。

市 28年度には竣工

権利変換計画の作成に若干の時間を要したため、平成28年度まで期間を延伸する認可変更をこの26年1月に行った。今後は、本年度秋に本体建築工事に着手し、28年には竣工させ、清算事務を進める。高齢化に向けた施設サービスの充実是不可欠であり、26年度の早い時期に健康福祉審議会に諮問し、今後の整備必要量も含め、審議を進めたい。(吉岡副市長)

他の質問 子ども・子育て支援新制度、領土教育、商店街振興、ため池の浚渫(しゅんせつ)

説明 *三田市健康福祉審議会：健康福祉行政の円滑な運営と推進を図るため、市長の諮問に応じて、市の健康福祉対策に関する事項を調査・審議し、市長に答申する機関。
*浚渫：川床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること。

